

**令和7年度第2回「中央区介護保険地域密着型サービス運営委員会」及び
「中央区おとしより相談センター運営協議会」議事録**

1 日時 令和8年3月5日（木） 午後6時30分から8時00分まで

2 場所 中央区役所 8階 大会議室

3 出席者

【委員】 亀井智子（委員長）、井戸田舞（副委員長）、戸所綾子（副委員長）、山田隆久
中村守、佐久間悟、荻巣麻美、麻生健史、北川達三、上田勉、黒川眞
上野双葉、中野俊昭、湊陽子、足立直子

【事務局】 高齢者福祉課長、介護保険課長、介護保険課地域支援係長、指導担当係長

【出席の承諾を受けている者】 京橋おとしより相談センター管理者

日本橋おとしより相談センター管理者

月島おとしより相談センター管理者

【傍聴】 なし

4 配布資料

第1部 中央区介護保険地域密着型サービス運営委員会

議題1 地域密着型サービス 区外指定事業所（資料1）

議題2 地域密着型サービス 令和7・8年度指定更新予定事業所（資料2）

議題3 地域密着型サービス 区内事業所の利用状況等（資料3）

第2部 中央区おとしより相談センター運営協議会

議題4 令和8年度事業計画(案)（資料4）

議題5 中央区おとしより相談センター事業実施方針(案)（資料5）

議題6 介護予防ケアマネジメント業務を一部委託する居宅介護支援事業所の選定
（追加分）について（令和7年7月1日以降分）（資料6）

議題7 介護予防支援を実施する居宅介護支援事業所の指定について（資料7）

第1部 中央区介護保険地域密着型サービス運営委員会

議題1 地域密着型サービス 区外指定事業所（資料1）

- ・介護保険課長より、区外指定事業所の状況について報告した。

議題2 地域密着型サービス 令和7・8年度指定更新予定事業所（資料2）

- ・介護保険課長より、地域密着型特別養護老人ホーム十思（指定有効期限：令和8年8月31日）、小規模多機能型居宅介護十思（指定有効期限：令和8年8月31日）について、更新予定であることを報告した。

議題3 地域密着型サービス 区内事業所の利用状況等（資料3）

- ・介護保険課長より、区内事業所の利用状況について報告した。

【意見・質問】

- ・資料2の指定更新予定事業所について、区としては監査などで問題がなく、この委員会による追認の意味でこの資料を提出しているのか。

→6年に1度の更新であるため機械的に更新対象となる事業所を報告している。今のところ、事業所に関して問題があると捉えていないので、要件が整った申請がされれば、更新になると考えている。

- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護と夜間対応型訪問介護の人数の動きについて話があったが、これら2か所の事業所はともに利用者数の減少傾向が続いている。区として何か対策もしくは新規の事業者の誘致といったことは考えなくてよいのか。
このサービスは地域密着型しかないので、新しい事業者を呼び入れるなどしないと、区内全体でサービスの低下が生じているのではないかと思うが、どのように考えているのか。

→夜間対応型訪問介護の利用は減少傾向にあるため、供給が足りていないという認識は現状ないので、すぐに夜間対応型訪問介護を誘致することは考えていない。

介護保険制度全体の話で言うと、介護保険事業は3年ごとに計画を立て、各サービスの需要数を算出している。その中で、供給不足が見込まれるのであれば、地域密着型サービス以外も含めた形で、必要なサービスに関して誘致や、今まで行っているような人員確保の支援等の対応を考えていく。

- ・夜間対応型訪問介護は2事業所併せても、令和5年度、6年度、7年度と月平均の利用人数が減っている。前回、前々回でも話があったが、新川訪問介護ステーションは、

緊急通報で利用できる回線が固定電話回線のみという問題があり、ニーズがなくなっているのではなく、本当は利用したいが利用できない方がいるため、この人数になっているのではないかと。

→もちろんそういったご意見があると事業者には伝えているが、今のところすぐに変えられる状態ではないと聞いており、利用しやすくするため、引き続きそういった意見等は伝えていきたいと思う。確かに潜在的なニーズはあると思うので、引き続き介護保険事業計画の中でも検討していきたいと思う。

- ・介護保険計画の3年間の推計値と比較しても、随分下回っている。

加えて、新川訪問介護ステーションの回線の問題は、本当に改善の余地がないほど大きなシステム変更なのか。区としてそこに対し指導、協議、もしくは資金的な援助をするなど、検討しているのか。

→現時点で、携帯電話型に変更するための資金の援助などは区としては考えていない。ただ、今の意見は引き続き伝え、最終的には法人が考えることだが、一緒に検討していきたいと思う。

- ・地域密着型サービスに対し、もう少し行政としての関わり方があるのではないかとと思う。まして職員不足や機器が今の時代と合わないことで利用を断っているというが、少なくとも地域密着型サービスとしては、本当にそれで良いのか。

→地域密着型サービスだけの問題ではなく、もちろん介護業界において人材不足というところは喫緊の課題である。これについては、国もそうだが、区においても介護人材の確保に寄与する事業は、これまでも行っている。

また、ハードを増やすところと人材というソフトを増やすことによってさらに受入れが増やせることもあるので、引き続きできることは一つでも行っていく。しかし、介護人材不足の問題がいきなり抜本的に解決することではなく、ハードを増やしたくても、中央区という土地柄、どうしてもスペースがないといった事情もある。いただいた意見は事業所に伝え、事業者の考えを丁寧に聞き取っていききたいと思う。

第2部の資料及び要旨等は別途、令和7年度第2回「中央区おとしより相談センター運営協議会」にて掲載。